

Clement Clarke International Product Catalog



『英国・クレメントクラーク社』

世界中で評価されている高精度を誇る
「ミニ・ライトピークフローメーター」を製造

クレメントクラーク社(CCL)は、1917年に設立された英国の医療機器の製造メーカーです。

1956年に喘息管理機器の製造をはじめて以来、60年以上にわたり、アレルギー・呼吸器領域において世界で認められている企業です。

最初のミニ・ライトピークフローメーターは1976年に製造され、その技術の高さは世界中から支持され、世界基準になるほどの評価を受けています。

今日では広大なグローバルディストリビュータチャネルを通して、クレメントクラーク社製品は世界中に届けられています。

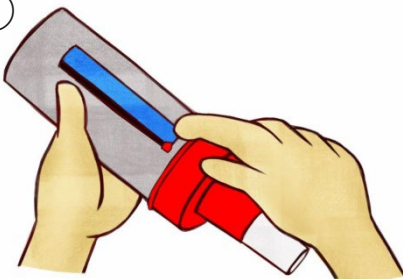



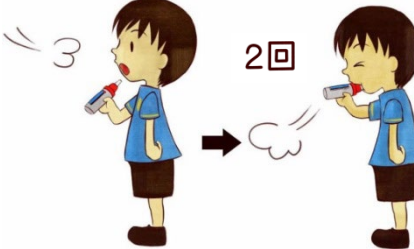

これからもクレメントクラーク社は、新技術を採用した製品の開発など、より良い製品を提供し続けていきます。



 CLEMENT CLARKE
INTERNATIONAL

Matsuyoshi&Co.,Ltd.

ピークフローメーターの測定方法

<p>①</p>  <p>ピークフローメーターの指針(ポインター)を目盛りの1番下にセットします。</p>	<p>②</p>  <p>大きく息を吸い込み、マウスピースをくわえます。(空気が口からもれないよう、しっかりとくわえてください。)</p>	<p>③</p>  <p>力いっぱい息をはきだします。(できるだけ早く呼出します。)</p>
<p>④</p>  <p>指針(ポインター)が止まった位置の目盛り数値を読み取ります。</p>	<p>⑤</p>  <p>①～④をさらに2回繰り返します。</p>	<p>⑥</p>  <p>3回の測定のうち、最高値を喘息日誌に記録します。</p>

⚠ 注意事項

- 測定の際に「トゥー」や「カー」など舌や喉を使って息を出し、実際よりも高値となるような呼出(spitting)をしてはいけません。
- 咳をしたり、舌でマウスピースを塞いではいけません(マウスピースを深めにくわえることで防止できます)。
- 測定の際に、指針に触れたり指針の動きを妨げないように本体を持ってください。また本体底面の穴を塞がないように持ってください。

【洗浄方法】～本体～

(ミニ・ライトピークフローメーター/エアーズン・ピークフローメーター)

- 台所用合成洗剤を入れたぬるま湯に2～3分程度浸します。
 - 浸しながらゆすって洗浄します(5分以上浸さないでください)。
 - 洗浄後、水で十分に洗い流してください。
 - 水滴をよく振り切り、自然乾燥させます。
- ※長時間ぬるま湯に浸すと目盛板が剥がれる可能性がありますので避けてください。
※熱湯に浸したり、ドライヤーを用いての高温乾燥は、本体を変形させる可能性がありますので、避けてください。

【保管方法】

- しばらく使用しない時は、保管前に洗浄し、乾燥させた上で保管して下さい。

【洗浄方法】～マウスピース～

(ミニ・ライトピークフローメーター)

- 本体からマウスピースを取り外し、水洗いしてください。
 - 水滴をよく振り切り、自然乾燥させます。
 - 煮沸消毒・消毒液による消毒が可能です。消毒後は水でよく洗い流してください。
- ※ご使用後、毎回洗浄することをおすすめします。
※エアーズン・ピークフローメーターのマウスピース部は取り外しができません。
マウスピース部をさっと洗い、乾かしてください(パーソナルユースでご使用ください)。

【使用期間】


- 使用期間は、使用開始後約2年です(約4,000回)。
- 使用状況に応じて、適宜交換をおすすめします。

クレメントクラーク商品情報

<https://www.matsuyoshi.co.jp/products/clement/>



<製造販売元>

 松吉医科器械株式会社

【本社】

〒113-8520 東京都文京区湯島3-14-9 湯島ビル3F

【オフィス】

札幌・仙台・埼玉・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

<https://www.matsuyoshi.co.jp>

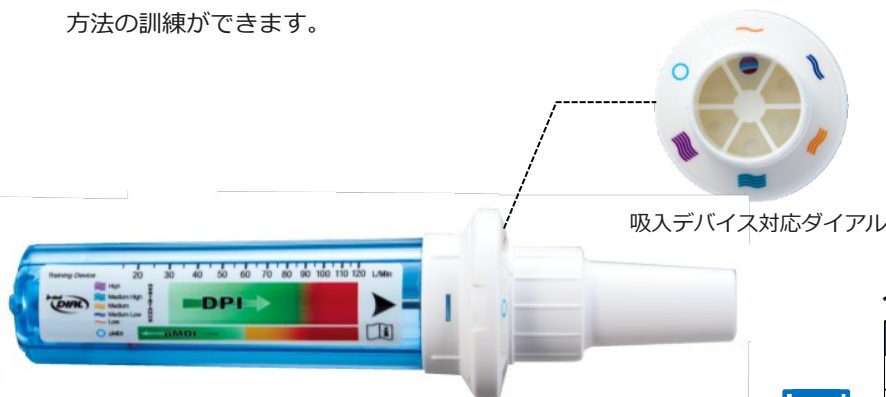


■ インチェック(経口吸気流量測定器具)

- 各種吸入デバイスに対応するダイヤル式インチェックです。
- インチェックダイヤルは吸気流速指導に用いられる訓練器具です。
- ダイヤルで抵抗値を調整することにより、それぞれの患者に適切な吸入デバイスの使用判断の助けとなります。
- 医師や薬剤師の指導による吸入デバイスを使用する際に最適な吸入方法の訓練ができます。

医療機器承認番号: 21100BZY00253000
管理医療機器/特定保守該当
一般的名称: ピークフローバイロメータ
JMDNコード: 31300000

ワンウェイバルブマウスピース装着時



吸入デバイス対応ダイヤル

インチェックダイヤル対応吸入デバイス及び抵抗値表示

抵抗値	表示アイコン	対応吸入デバイス	製薬会社
高	≡	ハンディヘラー	日本ベーリンガーインゲルハイム㈱
中高	≡	ツイストヘラー	MSD㈱
中	≡	タービュヘラー ジェヌエア	アストラゼネカ(株)・アステラス製薬(株) Meiji Seika ファルマ(株) 杏林製薬(株)
中低	≡	ディスクヘラー エリプタ ディスクス	グラクソ・スミスクライン(株)
低	≡	ブリーズヘラー	ノバルティスファーマ(株)
pMDI	0	スピロルトレスピマット 加圧式定量噴霧式吸入器	日本ベーリンガーインゲルハイム(株)

※表示されているインチェックダイヤル対応吸入デバイスは日本において承認されている薬とする

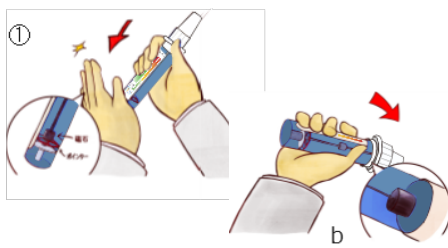
インチェックダイヤル

コード	品番	規格	定価(税抜)
24-6944-00	210900	ATS目盛	¥17,500

- 測定範囲10-120 L/min ●サイズ: Φ58 x 174 mm
- 重量: 本体=100g (マウスピースを含まず) ●使用精度: ±10%又は10L/Minのいずれか大きい数値。再現性±5L/Min ●付属品: マウスピース、ワンウェイバルブマウスピース x 2個

一般
クラスI

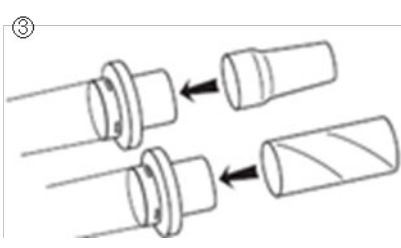
インチェックの測定方法



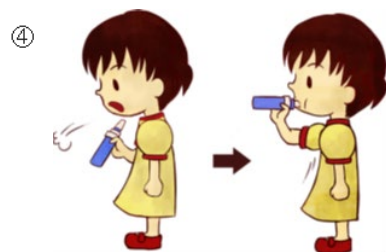
- マウスピース側についている磁石を「カチャン」と落し、ポインター(赤)をリセットします。
- 本体を傾けて磁石を元の位置に戻します。



ダイヤルを回して、使用したい吸入デバイスの表示アイコンと本体の矢印を合わせます。(軽くクリック音が聞こえます。)



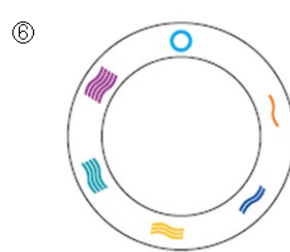
ダイヤル本体にマウスピースまたはワンウェイバルブマウスピースを装着します。



出来る限り息を吐き出し、マウスピースをくわえます。
薬を吸う時と同じように、ゆっくり大きく息を吸い込みます。



ポインターが止まった位置の目盛り数値を読み取ります。



読み取った吸気流速が30~90 L/Minの範囲であれば、使用したい吸入デバイスが適合と判断出来ます。

【洗浄・消毒・滅菌方法】

- 洗浄
 - ・オートクレーブ滅菌 ・煮沸消毒 ・消毒液による消毒(消毒後は、水でよく洗い流してください。)
- <ワンウェイバルブマウスピース>単回使用
 - (1) 洗剤液(台所用合成洗剤等)を入れたぬるま湯に、2~3分間浸します。(5分以上、入れておかないで下さい)
 - (2) そのまま中でゆすって洗浄します。
 - (3) 洗剤は、ぬるま湯で完全に洗い流して下さい。
 - (4) 乾いた布で水滴を拭き取り、完全に乾燥させて下さい。
- 消毒・滅菌
 - <本体> 消毒液による消毒
 - <マウスピース>
 - ・オートクレーブ滅菌 ・煮沸消毒 ・消毒液による消毒(消毒後は、水でよく洗い流してください。)
- <ワンウェイバルブマウスピース> 単回使用

【使用期間】

使用期間は、使用開始後約2年です。
使用状況に応じて、適宜交換をおすすめします。

【保管方法】

1. 高温、多湿、直射日光を避け、常温、常圧、水のかからない所で適切に保管をしてください。
2. しばらく使用しないときは、保管前に洗浄し、乾燥させた上で保管してください。

A2Aスパーサー(吸入補助具)

- pMDI(定量噴霧式吸入器)を吸入するための補助器具です。
- pMDIとの接合部分はやわらかいゴムで出来ており、各種pMDIに使用可能です。
- 本体が伸縮し、内部にpMDIを収納可能なので、持ち運びや保管に便利です。
- 抗菌・帯電防止素材を使用、pMDIの吸入口を軽減します。
- 本体に使用手順のイラストが表記されているので、初めての方でも安心です。
- ラテックスフリー。



本体が伸縮してコンパクトに



pMDI収納例

一般
クラス1
喘息治療
管理料2

A2Aスパーサー

	コード	品番	規格	定価(税抜)
①	24-2740-00	3607204	標準品	¥1,700
②	24-2740-01	3607206	マスク付	¥2,700

- 容量: 208ml
- 本体サイズ: 使用時=約65×150mm、収納時=約65×100mm
- マスクサイズ: ②約75×80mm
- 材質: 本体=ABS(抗菌)、②マスク=ポリマー

医療機器届出番号: 13B2X00069CL0004

一般医療機器

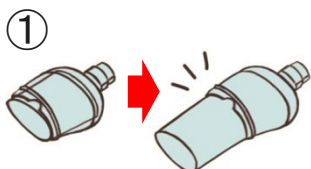
一般的名称: 呼吸ガス混合器

JMDNコード: 36327009

※2016年5月より一般医療機器となりました

A2Aスパーサーの吸入方法

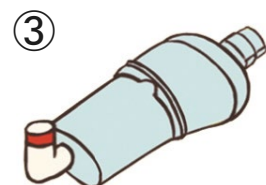
◆ご使用前に◆



本体の伸縮部分をカチッと音がするまで伸ばします。



pMDIのキャップをはずしてよく振ります。



pMDIを接続部にセットします。

標準品(マウスピース)使用



姿勢を正し、息をゆっくりと吐き出します。



マウスピースをしっかりとくわえ、pMDIを1回噴射します。



薬剤を噴射したすぐに吸入を行います。ゆっくり大きく吸い込みます。数秒間息を止めた後、ゆっくり吐き出します。

マスク使用



マスクをA2Aスパーサーにセットし、吸入姿勢をとります。



マスクを鼻と口を覆うように顔に密着させ、pMDIを1回噴射します。



薬剤を噴射したら普通の呼吸でゆっくり大きく吸い込みます。マスクを密着させたまま、4～5回スパーサー呼吸することでも吸入できます

⚠ 注意事項

- 吸入方法は、医師の指示やpMDIの使用方法に従ってください。
- 医師により、1度に複数回吸入の指示がある場合は、30秒以上間隔を明け、繰り返し吸入を行ってください。
- 吸入後はうがいを行うなど、pMDI使用方法に従ってください。
- 上記吸入方法が難しい場合は、マウスピースをくわえた状態で4～5回スパーサー呼吸するなど、医師の指導のもとでご使用ください。

【洗浄方法】

- マウスピースを含む本体上部やマスクを外し、スパーサー本体を伸ばします。
- pMDI接続部の柔らかいゴムを外します。
- 洗剤液(台所用合成洗剤等)入れたぬるま湯の中でゆすって洗浄します。
- 洗剤を清潔な流水ですすぎ、水滴を十分に切り、自然乾燥させてください。
- 完全に乾いたことを確認し、取り外した部品を組み立てて保管してください。
- ※布等で水滴を拭き取ると細かな繊維が本体内部に付着する場合がありますので、避けてください。

【保管方法】

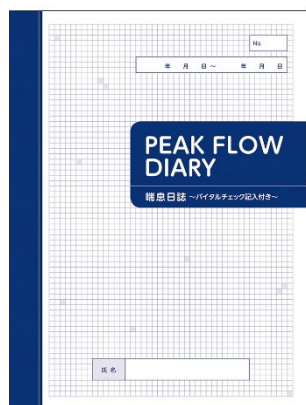
- しばらく使用しないときは、保管前に洗浄し、乾燥させた上、部品を組み立ててから保管してください。

【使用期間】

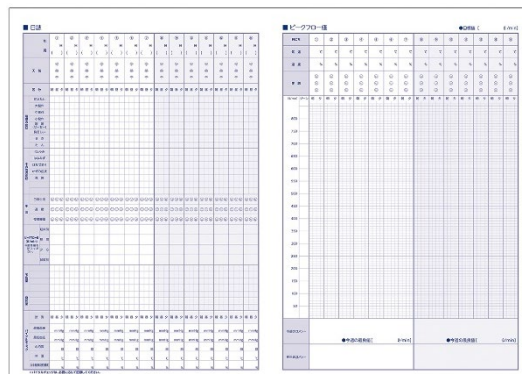
- 使用期間は、使用開始後約1年です。
- 使用状況に応じて、適宜交換をおすすめします。

■ 喘息日誌(PEAK FLOW DIARY) ～バイタルチェック記入付～

- 喘息の症状を自己管理するために、毎日の体調や日常生活、ピークフロー値を簡単に記録できる日誌です。
- ピークフロー値を測定し、日誌をつけることにより、自分の症状を把握しやすくなり、また医師に見せることによって診断や治療の助けとなります。
- 14週間分の体調やピークフロー値を記録できます。



表紙



記入欄

喘息日誌(PEAK FLOW DIARY) ～バイタルチェック記入付～

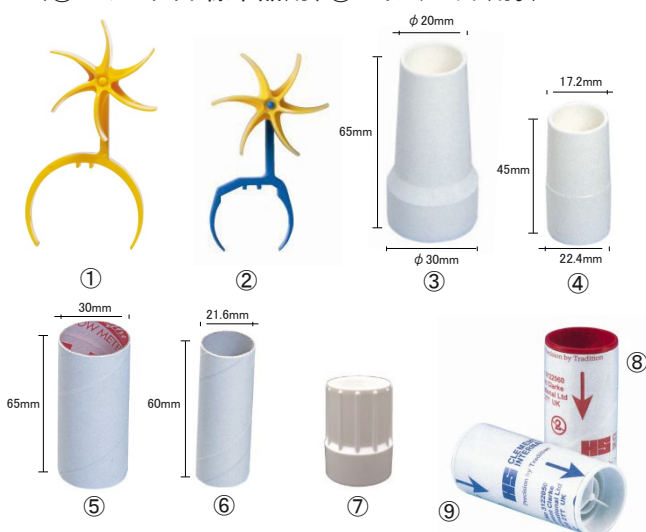
コード	品番	規格	定価(税抜)
① 25-3265-00	MY-0020	A4・14週間分	¥150

■ クレメントクラーク社製品用オプション

- 様々な用途に対応できるように各種アタッチメントをご用意しております。
- ①②はピークフローメーターの吹き方指導に最適なプラスチック製の風車(Windmill Trainer)です。
- ③⑤はミニ・ライト ピークフローメーター標準品用。④⑥はミニ・ライト ピークフローメーター小児用。
- ⑦をミニ・ライト ピークフローメーター標準品に取り付けると、④⑥小児用マウスピースが使えます。
- ⑧⑨は感染対策用のワンウェイバルブ付ディスポマウスピースです。
- (⑧はミニ・ライト標準品用、⑨はインチェック用。)



①使用例



ピークフローメーター/インチェック用オプション

コード	商品名	適用	定価(税抜)
① 01-2155-07	風車((Windmill Trainer)	ミニ・ライト 標準品 ミニ・ライト 小児用	¥490
② 01-2156-01	風車((Windmill Trainer)	エアゾーン	¥490
③ 01-2150-01	プラスチック製マウスピース	ミニ・ライト 標準品 インチェック	¥360
④ 01-2155-05	プラスチック製マウスピース	ミニ・ライト 小児用	¥360
⑤ 01-2150-02	紙製ディスポマウスピース(100コ)	ミニ・ライト 標準品 インチェック	¥6,800
⑥ 01-2155-02	紙製ディスポマウスピース(40コ)	ミニ・ライト 小児用	¥2,800
⑦ 01-2155-03	マウスピースアダプター(プラスチック製)	ミニ・ライト 標準品	¥660

ワンウェイバルブマウスピース(紙製ディスポマウスピース)

コード	規格	適用	入数	定価(税抜)
⑧ 01-2158-00	呼気用(赤)	ミニ・ライト 標準品	100コ(20コ×5箱)	¥11,400
⑨ 01-2158-01	吸気用(青)	インチェック	100コ(20コ×5箱)	¥12,000

※クレメントクラーク社製品以外には取り付けが出来ません

■ 指導箋

- 松吉医科器械(株)では「ミニ・ライトピークフローメーター」と、「A2Aスパーサー」の『指導箋』を作成しております。
- こちらは、日々の診療にて「商品説明の時間を取りにくい」という先生方のお声を受け、少しでも簡易に説明出来るツールとして、ご活用いただけると幸いです。

- *こちらの指導箋は、クレメントクラーク社製品をご使用の病院様、薬局様などに配布しております。
- *ミニ・ライト ピークフローメーターの測定方法、A2Aスパーサーの吸入方法を記載しております。
- *患者さん向けの商品説明用の指導箋として、ご活用ください。
- *残りが少なくなりましたら、弊社までご連絡ください。新しい冊子をお渡し致します。



表紙



内容(両面仕様)



ピークフローメーターについて

ピークフローメーターは、大きく息を吸いこみ、力いっぱい息をはき出す強さ(速度)の最大値を測定する器具です。その速度をピークフロー(PEF: peak expiratory flow)値と呼び、1分あたりのリットル数(L/分)で表します。
喘息などの症状により気道が狭くなっている(発作が起こりやすい状態)と、空気が通りにくくなるためPEF値は標準より低くなります。
喘息発作に先立つ息苦しさなどの自覚症状を感じる前からPEF値は低下することが多く、喘息の発作が無くても、毎日PEF値を決まった時間に継続的に測定・記録することで、自分の気管支の状態を客観的に評価することが可能です。

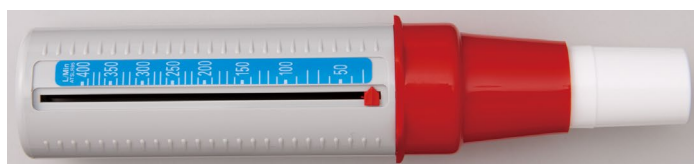
ミニ・ライト ピークフローメーター(最大呼気流量計)

- 世界中で評価されている、高精度を誇る「ミニ・ライト ピークフローメーター」です。
- 取り扱いが簡単で、わずかな時間でピークフロー値の測定ができます。
- 1本1本検査結果に合わせて手作業で目盛板を取り付ける製造手法により、高い精度の製品を提供しています。
- 現在国内で販売されているミニ・ライト ピークフローメーターの目盛には2種類あります。

ATSスケール目盛りは、アメリカ胸部疾患学会(American Thoracic Society/ATS)が勧告した方法で「機械装置」を用いて導いた結果データを校正して確定しています。



医療機器承認番号: 20400BZY00257000
管理医療機器/特定保守該当
一般的名称: ピークフロースパイロメータ
JMDNコード: 31300000



ミニ・ライト ピークフローメーター

コード	品番	規格	定価(税抜)
① 01-2150-10	MY-0010S	標準品・ATS目盛	¥4,900
② 01-2155-10	MY-0011S	小児用・ATS目盛	¥4,900

- 測定範囲: ①60~880L/min ②30~400L/min
- サイズ: ①本体=φ44×153mm ②本体=φ36×148mm
- 重量: ①80g ②52g

管理
クラスII

特管

喘息治療
管理料1

エアゾーン・ピークフローメーター(最大呼気流量計)

- 小児から大人まで使用可能な、患者個人用ピークフローメーターです。
- 患者個人の喘息管理がしやすい、3色のゾーンマーカー付。



医療機器承認番号: 21100BZY00345000
管理医療機器/特定保守該当
一般的名称: ピークフロースパイロメータ
JMDNコード: 31300000



エアゾーン・ピークフローメーター

コード	品番	規格	定価(税抜)
① 01-2156-00	210807	ATS目盛	¥3,200

- 測定範囲: 60~720L/min
- サイズ: φ30×138mm
- 重量: 45g
- 付属品: ゾーンマーカー×6コ(緑・黄・赤×各2コ)

管理
クラスII

特管

喘息治療
管理料1

保険点数

喘息治療
管理料1

喘息治療管理料1

1月目(初回治療管理を行った月): 75点
2月目以降: 25点

「外来の喘息患者に対して、ピークフローメーターを用いて計画的な治療管理を行った場合(月1回)」
(ピークフローメーター、ピークフロー測定日記等を患者に提供し、計画的な治療管理を行った場合に月1回に限り算定する。なお、当該ピークフローメーター、ピークフロー測定日記等に係る費用は所定点数に含まれる。)

喘息治療
管理料2

喘息治療管理料2

外来 初回のみ: 280点

※平成28年4月1日付の診療報酬改定にて、新たに保険点数が加算されました

「外来の喘息患者(6歳未満又は65歳以上)であって、吸入ステロイド薬を服用する際に吸入補助器具を必要とするものに対して、吸入補助器具を用いた服薬指導等を行った場合(初回に限る)。なお、吸入補助器具に係る費用は所定点数に含まれる。」